

こんにちは

日本共産党
京都市会議員

Hori Nobuko
ほり信子です

URL <http://hori-nobuko.jp/> ✉ shikai@hori-nobuko.jp f @hori_nobuko



予算
市会報告

みなさんと力を合わせ、 「市民の声を聞く市政」に変える



子どもの貧困対策の指標を 持ち、実効ある対策を

今回、「貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画」が提案されました。しかし、取り組みに対しての数値目標がなく、これまでの施策の充実のみ。新たな施策についても、どのように実施していくのかが見えてきません。対策の数値目標も持たず、国基準の「待機児童ゼロ」に固執し、子どもの医療費の無料化も先送り。計画倒れに終わることなく、具体的で実効ある施策を求めています。

自転車事故の対応策として、 生活道路の改修を



自転車保険に加入することが義務化(罰則規定はない)されました。自転車事故が多くなっていることからの対応策ではありますが、今、求められるのは、道路整備だと質しました。下立売通りを例に、毎日暮らしている生活道路の改修こそ必要と求めました。

教育条件の改善、3年生の35人学級の実現を

予算特別委員会で、3年生の35人学級の実現を求めました。3年生になると35校のクラスが40人学級になるため、国の「少人数指導等の推進のための基礎定数の新設」を活用して段階的に35人学級を進めるよう求めました。また、教育福祉委員会に付託された「教育条件の改善を求める請願」が不採択になったため、本会議の場でも討論をし、「子どもと向き合う時間の確保」のためにも少人数学級の重要性を訴えました。

健康長寿というなら、 公的責任で「居場所」の確保を



昨年11月市会で「老人いこいの家」を廃止し、健康長寿サロンに移行する方針が出されていました。そして、今回、高齢者の居場所づくりに関する予算が縮小されていることを指摘。現在取り組みを進めている方の現状を話し、予算の確保をと要望しました。



右京区 地域の 仕事人

地域で要求実現に向けて
がんばっています。

身近な暮らしに直結。住民のみなさんのお困りごとに耳を傾け、「安心」できる「居心地のよい」環境にしたい。そんな願いに少しでも寄り添いたいと、がんばっています。

1 用水路にかかる橋の改修を実現

市民の
声

橋が補強されると同時に八の字に広がり、自動車の右折・左折が楽になりました。道路も少し広くなった気がします。



2 丸太町通りのバス待ち環境の改善

市民の
声

丸太町通り東行きの2つのバス停の上屋が改善。西行きは「太秦映画村道」の上屋、「嵯峨野高校前」のバス接近表示器が新たに設置され、喜ばれています。

